

「蔵王山火山防災訓練」の実施について

新庄河川事務所と山形県では、蔵王山の噴火に備えて、迅速かつ適確な火山防災対策が図れるよう、関係機関とともに蔵王山火山防災訓練を、火山における学習型訓練としては東北で初めて実施します。

本訓練では蔵王山が水蒸気爆発した場合を想定して、情報伝達等の訓練を※¹学習型訓練により実施します。

1. 演習日時 平成27年10月15日(木)午後1時～午後4時30分
2. 実施場所 山形県庁2階「講堂」
3. 参加機関 東北地方整備局、仙台管区气象台、山形地方气象台、宮城県、山形市、上山市、山形県、新庄河川事務所
4. 参加者 約45人
5. 訓練内容 ○被害想定は、仙台管区气象台より、蔵王山に「火口周辺警報(火口周辺危険—噴火警戒レベル(2)相当)」が発表されてから、小規模な水蒸気爆発が発生し噴石が飛散し、これに伴い「火口周辺警報(入山危険—噴火警戒レベル(3)相当)」が発表されたことを想定しています。
○参加者全員が状況の流れ、対応や行動を共有・理解出来る学習型訓練により、火山防災対応について確認を行います。

※ 実際にヘリコプターは飛行しません。今回は机上訓練であり、以前撮影した蔵王山周辺のヘリ映像を使用します。

※ 当日の気象状況により、訓練を中止する場合があります。

※ 会場にはマスコミ関係者席及び一般傍聴席を用意しています。なお、一般の方で傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡願います。会場の都合上、先着10名程度とさせていただきます。

<発表記者先:新庄新聞放送記者会、山形県政記者クラブ>

【問い合わせ先】

<国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所>

山形県新庄市小田島町5-55 TEL:0233-22-0262(直通)

副所長(砂防) 佐藤 勝美(内線205)

調査課長 田村 公仁(内線351)

<山形県 環境エネルギー部 危機管理・くらし安心局>

山形市松波二丁目8-1 TEL:023-630-2211(代表)

危機管理課長 橋本 仁

■ スケジュール

13:00~13:05	開会・挨拶
13:05~13:30	訓練の進め方の確認
13:30~14:00	学習型訓練 (初動対応ステージ)
14:00~15:15	〃 (緊急対応ステージ) [※15:00~15:15 降灰調査実技訓練]
15:15~16:00	〃 (緊急対策実施ステージ)
16:00~16:25	反省会 (訓練後アンケート記入)
16:25~16:30	閉会・挨拶

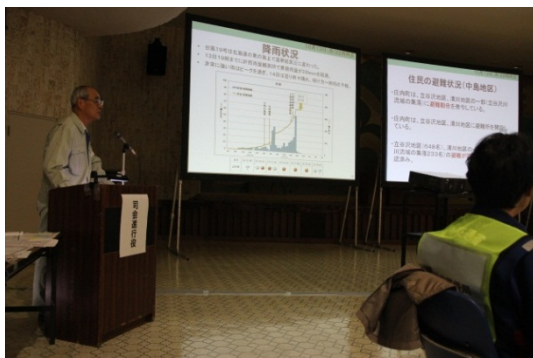
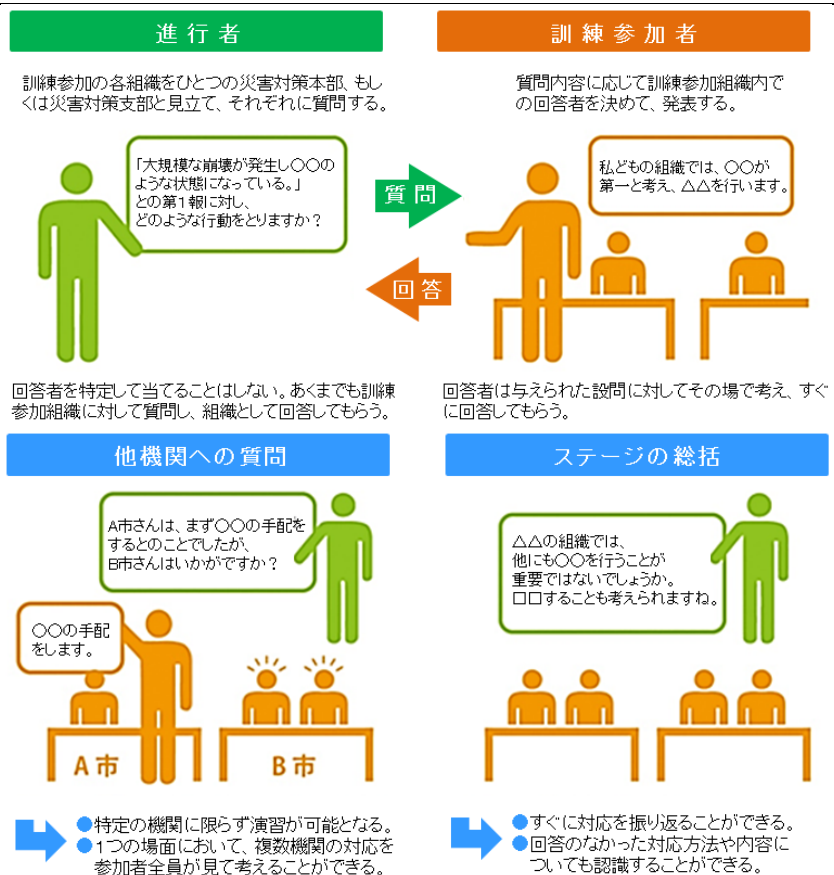
■ 訓練方法 (*1学習型訓練)

基本的な進行

「進行者」と「訓練参加者」にわかれ、状況付与を行った上で進行者が対応について質問し、これに訓練参加者が回答する形式で進行します。

振り返り

たとえ回答が適さなくても、すぐに振り返ることができる訓練です。



参考写真：平成 27 年 1 月 30 日に新庄河川事務所が実施した

「大規模土砂災害を想定した学習型訓練による危機管理演習」状況